

国民文化の象徴「将棋の祭典」 開催要項

1 サブテーマ

国民こぞって地獄まいり～世界一快適な別府地獄で将棋に熱くなれ

2 趣旨

文化としての将棋について、将棋遊びから本格的な指し将棋までを体験します。
またプロ棋士による指導対局を通じて将棋の奥深さを体験します。

3 日時

平成30年10月12日(金) 14:00～18:30

10月13日(土) 10:00～17:00

10月14日(日) 9:00～18:00

4 会場

・別府市公会堂

〒874-0908 大分県別府市上田の湯町6番37号

TEL 0977-22-4118

・JR別府駅構内及びその周辺

5 主催者

文化庁 厚生労働省 大分県 大分県教育委員会 別府市 別府市教育委員会
第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会
第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会
大分県将棋連合会 日本将棋連盟大分中央支部

6 事業内容(予定)

10月12日(金)	詰め将棋コーナー	14:00-18:30
	プロ棋士による指導対局	14:00-18:30
13日(土)	駒作り実演会	10:00-17:00
	プロ棋士による指導対局	10:00-12:00 (小中学生限定)
	こども将棋トリアスロン	13:00-17:00 *要申込み
	プロ棋士による指導対局	14:00-17:00
14日(日)	地域交流ふれあい将棋大会	9:00-15:00 *要申込み
	駒作り実演会	10:00-15:00
	将棋遊び体験会	10:00-12:00
	プロ棋士による指導対局	11:00-14:30
	詰め将棋タイムトライアル	13:00-14:30
	プロアマお好み対局	15:00-18:00

ゲスト：日本将棋連盟棋士 深浦康市九段ほか

7 応募受付期間

「こども将棋トライアスロン」と「地域交流ふれあい将棋大会」の参加希望者は、平成30年7月2日(月)～8月31日(金)に、下記申込み先に応募してください。ただし、定員に達し次第、締め切ります。

その他の事業については、当日受付が可能です。

8 応募規定

○参加資格

- ・こども将棋トライアスロン 小中学生のみ
- ・地域交流ふれあい将棋大会 だれでも可(1チーム3人)

○参加費

- ・こども将棋トライアスロン 1人 500円(参加賞付き)
- ・地域交流ふれあい将棋大会 1チーム 6,000円(飲み物・昼食付き)

○定員

こども将棋トライアスロン 80人程度

地域交流ふれあい将棋大会 100人程度

申込み先への連絡項目

【共通項目】(1)氏名 ふりがな (2)郵便番号 住所 (3)電話番号 (4)段級位

【高校生以下】学校名、学年、年齢(未就学児童のみ)、保護者氏名

【こども将棋トライアスロン】参加クラス(A級～D級)

【地域交流ふれあい将棋大会】大将・中堅・先鋒の上記共通項目

9 競技方法

○こども将棋トライアスロン

クラス：A級(1級以上、ただし参加は自由)

B級(2級～5級) / C級(6級～9級) / D級(初心者)

クラス毎に3対局以上を行い、その後詰将棋や将棋遊び(まわり将棋、山崩し、挟み将棋) 将棋なぞなぞ等で総合得点を競います。

○地域交流ふれあい将棋大会

1チーム3人の団体戦で、スイス式トーナメント4回戦を行います。

10 賞(予定)

文部科学大臣賞 国民文化祭実行委員会会長賞 大分県知事賞 第33回国民文化祭大分県実行委員会、第18回全国障害者芸術・文化祭実行委員会会長賞 別府市長賞 第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会会長賞 別府市教育長賞 大分県将棋連合会会長賞

国関係の賞については「こども将棋トライアスロンA級」のみ

1 1 その他

写真や名前等の個人情報がプログラム、大会記録、新聞、インターネット上の関連サイト等に掲載される場合があります。また、主催者の許可を受けた組織や事業者によって撮影された写真やビデオ等が公開される場合があります。

1 2 問合せ先 (土、日、祝日を除く)

第33回国民文化祭、第18回全国障害者芸術・文化祭別府市実行委員会
〒874-8511 大分県別府市上野口町1番15号
(別府市観光戦略部文化国際課内)

TEL 0977-21-1271

FAX 0977-22-1919

E-mail bunkasai@city.beppu.lg.jp

1 3 申込み先

大分県将棋連合会事務局 七蔵司仁紀
〒870-0126 大分市大字横尾3534-6

TEL 097-520-4245

携 帯 080-3994-3588

FAX 097-515-8487

E-MAIL info@qsshogi.net

H P http://blog.goo.ne.jp/ki_rakuan_2006